

【教育理念】 児童の笑顔、教師の笑顔、保護者の笑顔が 魅力ある学校を作る

㊦ んどういっぱい ㊧ キドキいっぱい ㊨ クワクいっぱい ㊩ ラキラ輝く 大野木場小学校便り No.50



かどわきっ子

令和8年 3月23日(月)

南島原市立大野木場小学校

校長 森田 純弘

「子は親の鏡」

ドロシー・ロー・ノルト／レイチャル・ハリス：著 石井千春：訳

「子どもが育つ魔法の言葉(PHP研究所)」より

※ 本文は著作権の都合上ホームページ等には掲載していません。

先日の第79回卒業証書授与式には、たくさんの方にお越しいただき、児童へお祝いの言葉を掛けていただきました。誠にありがとうございます。13名の卒業生は、大野木場小学校で学んだ6年間を胸に、新たなステージで羽ばたいてくれると期待しております。

さて、上の詩は昨年度末にも御紹介したものです。一年間を振り返るとき、そして、新しい年度へ向けて気持ちを新たにするとき、一助になればとの思いから再び御紹介します。

著者がこの詩を作ったのは1954年、今か

ら72年前のことです。時代は変われど、今に通ずることばかりです。逆に、当時とは生活様式が大きく変わった今、足りないことかもしれません。この詩は、37ヵ国語に翻訳され、世界中で子育ての指針とされています。

「君は大切な存在なんだよ」と感じさせ、笑顔につながれたらと思います。

今年度も、本校の教育に対し御理解と御協力を賜り誠にありがとうございました。4月からも変わらぬ御支援を賜りますようよろしくお願いたします。

《大野木場小学校は 校舎焼失から34年目 創立から144年目を迎えます》